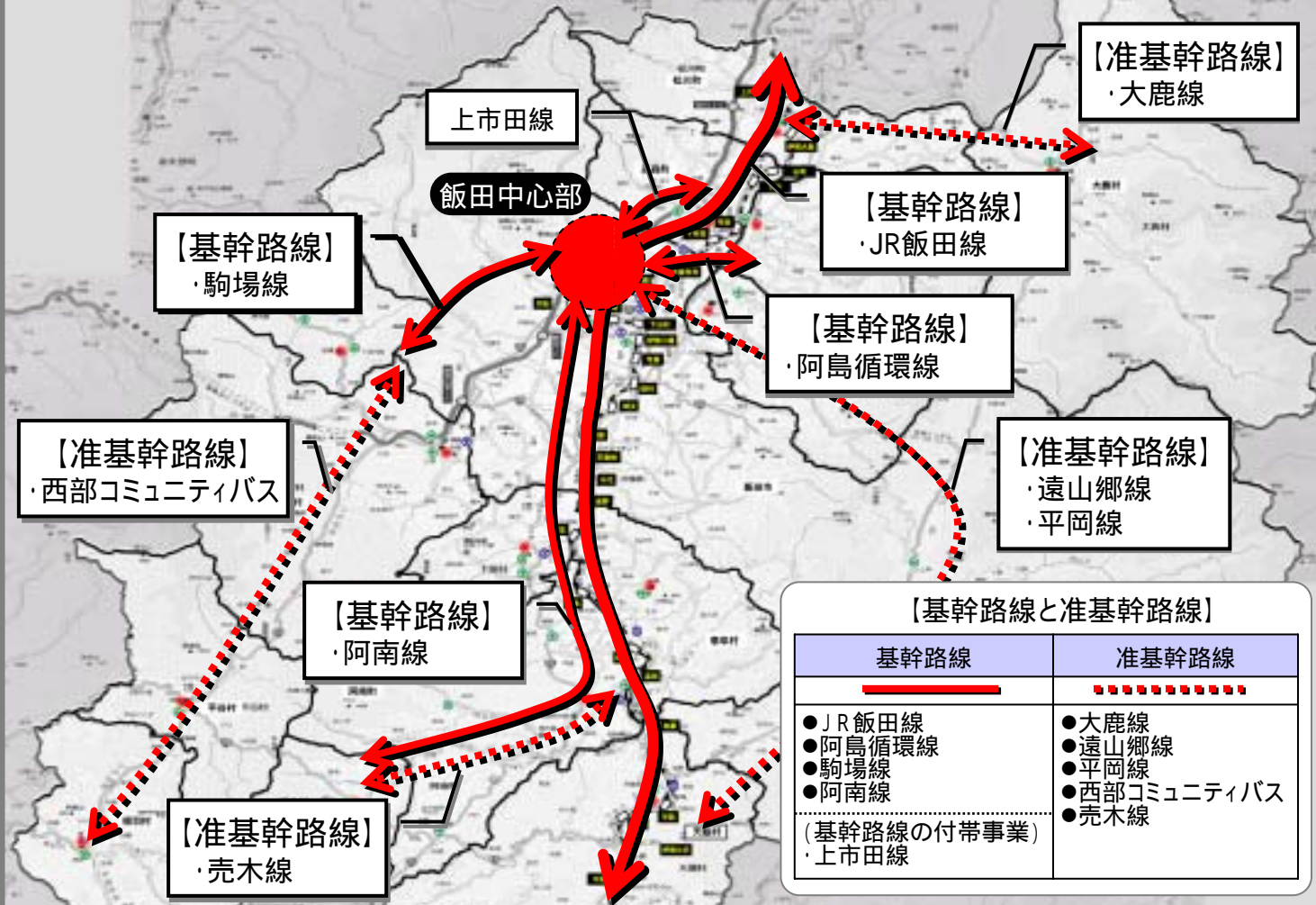


南信州公共交通システム（体系化）のイメージ

基幹路線、準基幹路線に  
各自治体の支線を接続させる



全公共交通の体系化 + 統一運行ルール + 利用促進

# 南信州の未来路線図を描く



南信州公共交通システムは、以下の地域課題を解決することを目標とします。

- 目標1：南信州公共交通システムのブランド化
- 目標2：交通不便者に対応した公共交通の利便性向上
- 目標3：基幹路線に対する準基幹路線及び自治体バスの効率的・効果的な接続
- 目標4：利用者の拡大

- 今後の取り組み -

南信州公共交通システムに基づいて、「**基幹路線**」の運行を行います。関係者が連携して「準基幹路線」「支線」を整備し、「基幹路線」への接続を図ります。南信州地域全体としての**統一の運行ルール**をつくり、関係機関と調整を図りながら浸透させていきます。  
**利用促進策（モビリティマネジメント）の推進**によって、南信州公共交通システムを周知し、自家用車主体の生活様式から公共交通主体への転換を促していきます。

公共交通整備の背景

公共交通を取り巻く環境は、全国的に非常に厳しい状況に置かれています。自家用車の増加などによって公共交通の利用者数が落ち込み、公共交通事業者は、運賃収入だけでは公共交通の維持が難しい状況になっています。

南信州地域においても、地域の公共交通を担ってきた信南交通(株)が生活路線バスを廃止することを発表しており、公共交通を取り巻く環境は非常に厳しいものとなっています。南信州地域は広大な面積を持ち、起伏の激しい地形のため、移動が難しい地域です。自ら交通手段を持たない高齢者の方や高校生といった交通不便者には、公共交通の維持は、生活を守ることを意味しています。

こうした背景を受け、南信州地域交通問題協議会では地域の公共交通を維持するために、「南信州地域公共交通総合連携計画」を策定しました。

2009年3月 発行



南信州  
公共交通  
システム

南信州地域交通問題協議会

事務局：南信州広域連合事務局 広域振興係 〒395-0034 飯田市追手町2-678 飯田合同庁舎5階  
 TEL：0265-53-7100 FAX：0265-53-7155 MAIL：m-koiki@mis.janis.or.jp

【南信州広域連合 構成市町村】  
 飯田市・松川町・高森町・阿南町・清内路村・阿智村・平谷村・根羽村  
 下條村・売木村・天龍村・泰阜村・喬木村・豊丘村・大鹿村



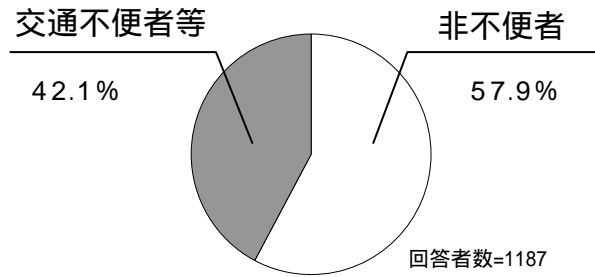


南信州地域の公共交通網の再構築を行うにあたって、圏域住民の公共交通の利用状況や公共交通維持に対する意識、日常的な移動の実態等を把握し、南信州地域に最適な公共交通維持の方法を明らかにするために、「圏域住民アンケート調査」を行いました。

【調査概要】

対象：15歳以上の圏域住民2,981人  
期間：平成20年9月10日～24日  
回収数：1,187通（回収率39.8%）

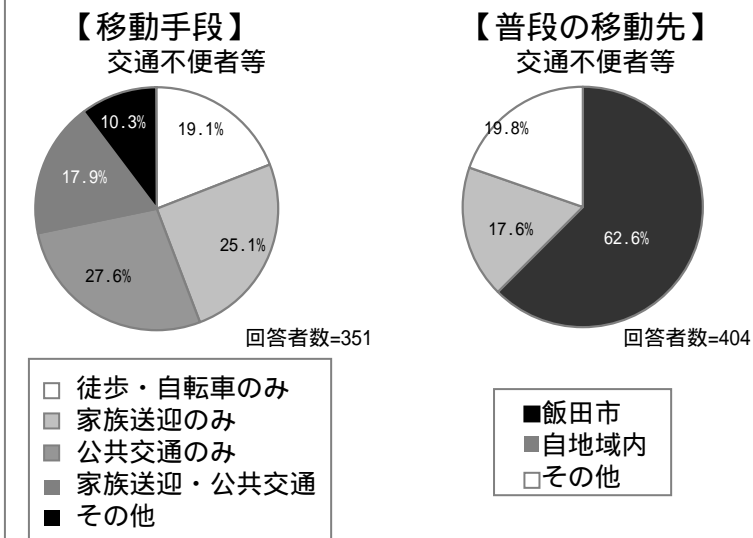
南信州地域における交通不便者等<sup>1</sup>



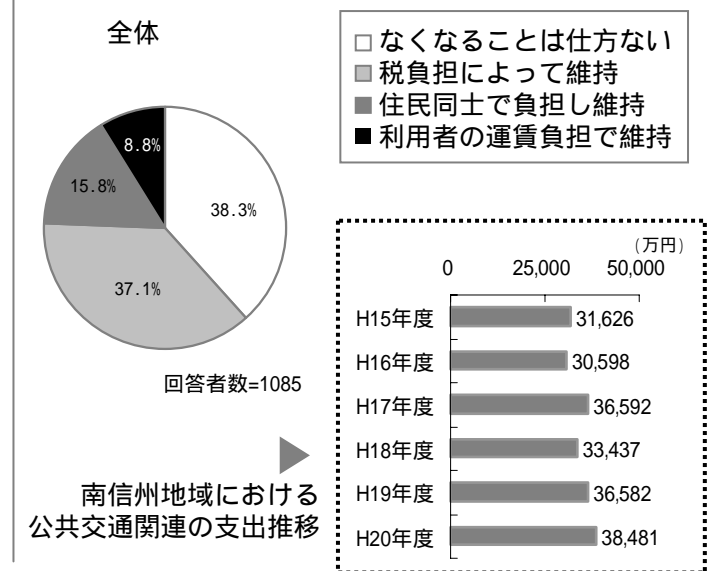
1 自家用車の運転ができない人、日常的に公共交通を利用して  
いる人を「交通不便者等」と呼びます。

調査結果（抜粋）

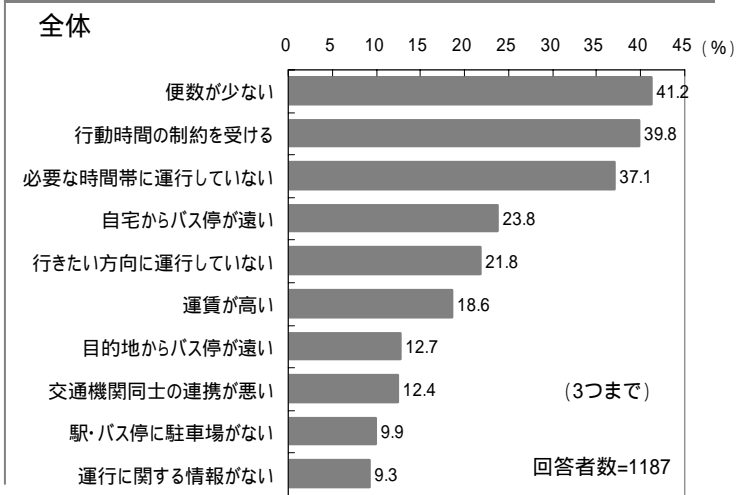
圏域住民の移動の状況



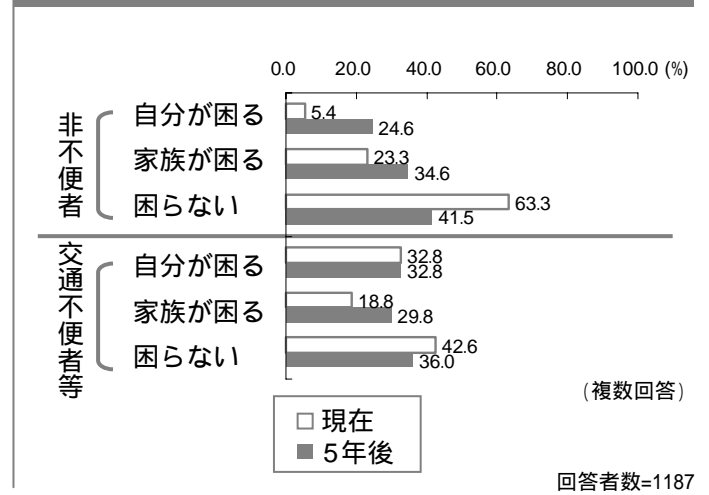
バス路線維持のあり方



バス利用の課題（上位10項目）



信南交通の撤退で困る人

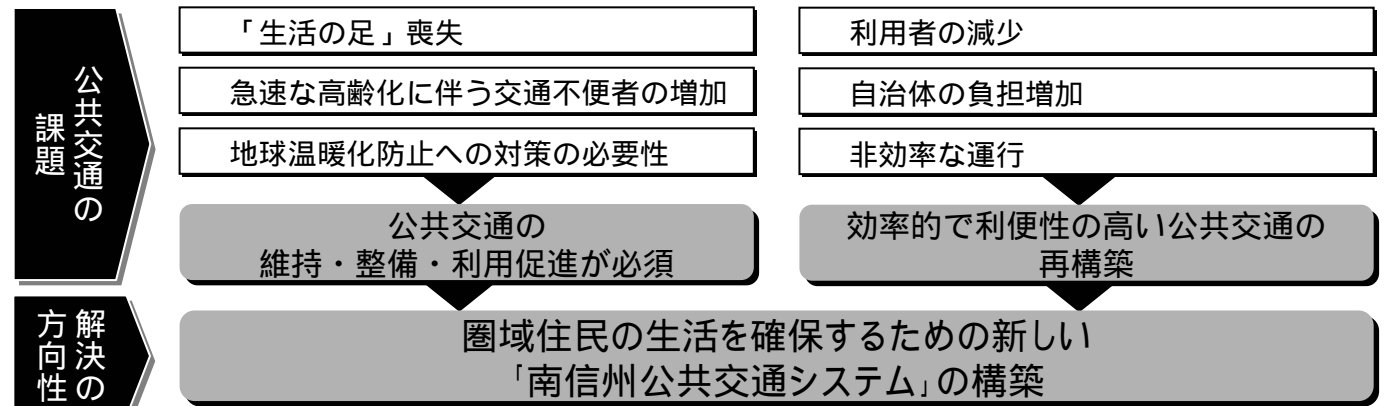


- 交通不便者・非不便者ともに6割以上の人何らかの方法で公共交通の維持を望んでいる。その中で「**税負担によって維持**」と考える圏域住民が多い。
- 信南交通の撤退によって、現在は「困らない」という人も多いが、**5年後には「困る」人が増加する。**
- 交通不便者等の普段の移動先は、**飯田市に集中しており、6割を超える。**
- バス利用の課題では、便数や時間帯、運賃、接続の悪さなど、**非効率で利便性が低い**ことが分かる。

公共交通の課題と解決の方向性

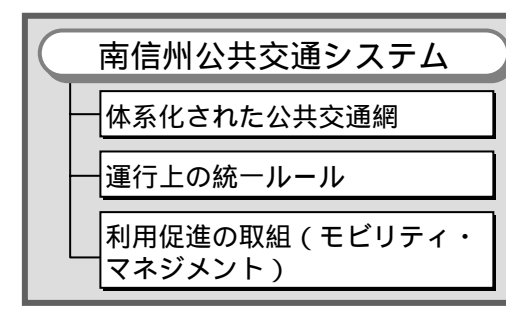
圏域住民アンケート調査の結果等を踏まえ、南信州地域の公共交通の課題を整理し、解決の方向性を導き出しました。南信州地域では、「生活の足の喪失」「交通不便者の増加」「地球温暖化防止」といった観点から、公共交通の維持・整備・利用促進が必須であり、また、「利用者の減少」「自治体の負担増加」「非効率な運行」から、効率的で利便性の高い公共交通の再構築が必要であるという課題が浮かび上がっています。

当協議会では、それらの課題を解決するために「南信州公共交通システム」を構築します。



南信州公共交通システムの概要

「南信州公共交通システム」とは、**既存公共交通の効率化や利便性向上、圏域住民への公共交通に対する啓発と利用促進を図るための仕組みなど様々な事業のことで**す。このシステムは、「体系化された公共交通網」「運行上の統一ルール」「利用促進の取組（モビリティ・マネジメント<sup>2</sup>）」という3つの柱で構成されています。体系化された公共交通網に、既存公共交通を接続するように改善を図りながら、運行上のルールを統一するための各種調整をします。また、平行してモビリティマネジメントを実施していきます。



2 モビリティ・マネジメントとは、個人や地域の移動状況が社会的に望ましい方向に変化するよう、自発的な移動行動の変化を促すコミュニケーションを中心とした交通施策全般を指します。

南信州地域の新しい公共交通体系

南信州地域は、飯田市を中心とした共通の生活圏を持っています。飯田市中心部には、日常的に通う医療機関、教育機関、就労環境、購買環境などが数多くあり、南信州地域を構成する15市町村から多くの圏域住民を集めています。南信州地域では、飯田市中心部と他地域を結ぶ公共交通が、必要不可欠だといえます。**南信州公共交通システムでは、この飯田市中心部と他地域を結ぶ重要な機能を持つ公共交通路線を「基幹路線」として位置づけ重点的に整備を行います。**また、南信州地域の広大な面積を考慮すると、基幹路線だけでは全ての移動をカバーすることができません。このため、各地域の主な交通結節や基幹路線に接続する公共交通路線を「**准基幹路線**」とし、**基幹路線や准基幹路線を結ぶ地域の自治体バスなどを「支線」として整理します。**

【路線の位置づけ】	
区分	定義
基幹路線	●飯田市中心部と他地域を結び、複数の市町村を運行する公共交通路線 ●複数の市町村に利用者がいる公共交通路線
准基幹路線	●複数の市町村を運行し、基幹路線に接続する公共交通路線
支線	●基幹路線や准基幹路線に接続する地域の自治体バスなど

これからの南信州地域における公共交通のあり方

これまで、南信州地域の地域公共交通は、各事業者や各自治体それぞれに行うことが多かったため、利便性が低く非効率でした。しかし、これからは、関係機関（圏域住民、交通事業者、行政等）が連携し、効率的で利便性の高い、南信州公共交通システムを構築していきます。そうすることで、安全に、そして誰もが公平に利用できる公共交通としていきます。